

ネット宗教者
「私的参拝」繰り返す
 陸自幹部の靖国参拝で防衛省

今年1月に陸上自衛隊の幹部などが靖国神社（東京都千代田区）や宮古神社（沖縄県宮古島）に参拝したことを受け、「平和をつくり出す宗教者ネット」は16日、東京都千代田区の参議院議員会館で防衛省との意見交換会を開催した。同ネットは、事前に質問を提出し、防衛省職員が対面して質問に答えた。質問では、①同様の参

の私的参拝であり、玉串料も私費だった」と説明。ただし、「公用車の利用は不適切だった」との考えを示した。

私的参拝であるため、政教分離や過去の事務次官通達違反にも当たらないという主張を繰り返す防衛省側に対して、小野文珠氏（日蓮宗僧侶）は、「承認印がある実施計画書がある」と自衛隊の内部文書の内容を指摘。防衛省側は「休暇をとるためのもので、参拝は41名に案内が出されたが、実際は21名の有志で行ったもので部隊参拝ではなかった」と回答した。

前日の衆議院外務委員会質疑で、陸自高等工科学校の研修として生徒約350人が集団で靖国神社を訪れていたことを明らかにした穀田恵二議員（日本共産党）も参加。自衛隊幹部の参拝を含め、「戦前帰郷の危険な考え方が根本にあるのでは」と疑問を呈した。



防衛省職員と対面して意見を述べ合った宗教者ら